

企業価値向上には投資家への成長ストーリーの発信が重要 —マッキンゼー・アンド・カンパニーの専門家を招きオンライン会合を開催—

2022年11月16日

講師：マッキンゼー・アンド・カンパニー 戦略&コーポレートファイナンス研究グループ
ジョナサン・ウォッツエル（シニアパートナー）
ワーナー・レーム（パートナー）
田口 弘一郎（パートナー）
福富 尚（アソシエイトパートナー）

経済広報センターは11月16日、「企業価値向上につながるグローバル・コミュニケーションのあり方」と題するオンライン会合を開催した。マッキンゼー・アンド・カンパニーの専門家4人が、企業価値向上につながるコミュニケーションに必要な要素について説明した。企業の幹部ら約120人が参加した。

最初に、資本市場分析等を専門とする同社パートナーのワーナー・レーム氏が、投資家視点での資本市場トレンドについて説明。レーム氏は、資本市場がESG（環境・社会・ガバナンス）、特に環境やエネルギーを重視する傾向は今後強まっていくと指摘。そのなかで企業価値を高めていくには、情報開示にとどまらず、社会価値と経済価値を創出していく独自の成長ストーリーを積極的に発信していくことが重要だと述べた。

次に、同社アソシエイトパートナーの福富尚氏が、M&Aにおけるコミュニケーションの留意点について説明。M&Aの機会を活用し、経営戦略とM&Aの目的、それらのシナジー効果について説明することが重要だとした。

続いて、マッキンゼーの経営・経済の研究部門であるマッキンゼー・グローバル・インスティテュートでディレクターを務めるシニアパートナーのジョナサン・ウォッツエル氏が、世界秩序、テクノロジー基盤、人口動態等のメガトレンドについて解説した。

最後に、同社パートナーの田口弘一郎氏は、企業価値向上に資するグローバル・コミュニケーションについて説明。成長ストーリーを組み立て内外に発信し、それを企業の長期的成功につなげるためには、本質的価値を志向する投資家の視点に立つことが重要だと強調した。

以上

一般財団法人

経済広報センター

国際広報部

〒100-0004 東京都千代田区大手町1-3-2 経団連会館19階

電話：03-6741-0031

<https://www.kkc.or.jp/>

<https://en.kkc.or.jp/>

※本稿の無断転載を禁じます。